キャラクター名
朝日奈　朔（あさひな　さく）

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハィロゥ モルフェウス	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	会社員
オプショナル		年齢	30歳	性別	男
覚醒	素体	衝動	解放	初期侵食率	34 %
出自	天涯孤独	経験	裏切った	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	1			2
感覚	5	1	1		3	10
精神	1	0	1			2
社会	1	0	0			1

HP	26
行動値	22
(非装備時)	22
戦闘移動	27
全力移動	54

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚	1		意志	2		調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
実験体（ロストナンバー）	P	N		
風祭優志郎（忘却）	P　信頼	N　不安		
アリア（実験体）	P　遺志	N 不快感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ｺﾝｾﾝﾄﾚｲﾄ:ﾓﾙﾌｪｳｽ	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果：ｸﾘﾃｨｶﾙ値を-LV(下限値7)								
ｲﾝﾌｨﾆﾃｨｳｪﾎﾟﾝ	5	3	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	-	
効果：白兵戦用の武器製作する								
カスタマイズ	3	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	白兵射撃	-	
効果：組み合わせた判定のﾀﾞｲｽ+Lv個する								
レインフォース	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果：組み合わせた攻撃の攻撃力+[Lv*2]								
砂の加護	3	3	ｵｰﾄ	視界	単体	自動	-	
効果：その判定のダイスを+LV個する。対象が判定を行う直前に使用。								
光の舞踏	★	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	白兵	-	
効果：ｴﾌｪｸﾄを組み合わせた攻撃は【感覚】で判定を行える								
光芒の疾走	1	1	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	-	
効果：戦闘移動を行う。離脱可。1ｼｰﾝLv回使用可能								
ヘヴンアイズ	★	4	ｵｰﾄ	視界	単体	自動	80↑	
効果：対象が判定を行う直前に使用。その判定の達成値+10。ただしHP-5する(1ｼｰﾝ1回)								
咎人の剣	1	4	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	白兵	ﾘﾐｯﾄ	
効果：このｴﾌｪｸﾄを組み合わせた攻撃の攻撃力を+[Lv*5]する。前提条件:《ｲﾝﾌｨﾆﾃｨｳｪﾎﾟﾝ》（EA:p86）								
壁抜け	★	-	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動	-	
効果：密室や壁などの障害物を無視して移動								
七色の直感	★	-	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	自動	-	
効果：五感の認識を関連付けて対象の感情を読み取る								
効果：								
効果：								

朝日奈さんは風祭家の分家のお家。
実際には風祭に属していて、優志郎に仕えているので、名前だけ借りている。
名前の由来は優志郎が朔を見つけたのが１日だったことと、その日の空が雲一つ無く綺麗で月が輝いていたため。
誕生日は9/1。

風祭家に仕えてはいるけど、どちらかというと優志郎個人に仕えているので、他の風祭に何か言われてもよほどのことがない限り動かない。
衝動：解放の子なので、暴走した場合自分が人間という狭い枠から解き放たれたと思い込んでしまう。性格がやばになる
童顔で背もそこまで高くないので未成年に間違われがち。
だけどその真実は外見年齢が16歳くらいで止まってしまっている為。実験の副作用なのか、外見だけは歳を取らない。

基本的に風祭優志郎の側にいることが使命としているが、当人ももう35歳だし、第3新東京支部にも人が増えて来たので単独任務を任されている。その為まともに第3新東京支部には帰ってこない。もうかれこれ2年は行ったっきり。
単独任務のせいか、戦闘スタイルは補助のほの字もないようなもので、__アシストするエフェクトは一つもない__。
とある戦闘と出会いをきっかけに支援を覚えた。

「"""人間なんて、ちっぽけでわずらわしい生き物だと思いませんか？あなた方は可哀想な方ですね"""」